

【小学校・中学校・義務教育学校用】

令和5年度学校評価計画

達成度（評価）	
A	: 十分達成できている
B	: おおむね達成できている
C	: やや不十分である
D	: 不十分である

学校名	みやき町立三根西小学校
1 前年度 評価結果の概要	<ul style="list-style-type: none"> 最終評価では、ほとんどの項目で成果指標を達成することができた。しかし、「学力の向上」の項目で「マイプランの成果指標」に関する取組が成果指標に届かなかった。自分の考えを表現する時間の確保や、自分と友達を考えを比べながら書いたり発表したりする実践はできていたが、習熟や振り返りの時間の確保が十分でなかったとの反省が頂かれた。 本校は、これまで体育科の学習を通して学び続ける児童の育成を目指して校内研究を進めてきた。ここで培った学び続ける方法や意欲を他教科でも生かしていきたい。 いじめはどこにでもあることを認識し、より一層の早期発見、早期解決に努めたい。
2 学校教育目標	やさしく、かしこく、たくましい三根っ子の育成

3 本年度の重点目標	①やさしい子を育む（思いやりを持ち、助け合う子供の育成） ②かしこい子を育む（進んで学び、よく考える子供の育成） ③たくましい子を育む（生き生き活動する元気な子供の育成）
------------	---

4 重点取組内容・成果指標				中間評価	5 最終評価				主な担当者	
(1)共通評価項目				中間評価		最終評価		学校関係者評価		
評価項目	重点取組		具体的取組	進捗度 (評価)	進捗状況と見通し	達成度 (評価)	実施結果	評価		意見や提言
●学力の向上	○全職員による共通理解と共通実践・学習内容の定着に向けた分かりやすい授業の実践	○学力向上対策評価シートの成果指標を達成した教師85%以上	・教職員間で共通実践や成果指標を共通理解し、毎月の校内研修で取組の推進を図る。 ・家庭学習の大切さや具体的な取り組み方を児童・保護者に伝え、家庭学習の習慣化を図る。							【学び部】 ・研究主任 ・学力向上コーディネーター
	○校内研究の推進	○体育に関するアンケートにおいて「体育が楽しい」と回答した児童の割合が、80%以上。	・年間指導計画の見直しを行う。 ・めあて、見通しが分かる授業を行う。 ・授業の中に、友達との関わりを重視した活動を取り入れる。							
●心の教育	●児童生徒が、自他の生命を尊重する心、他者への思いやりや社会性、倫理観や正義感、感動する心など、豊かな心を身に付ける教育活動	○道徳に関するアンケートにおいて肯定的な回答をした児童80%以上	・道徳に関するアンケートを年に2回実施し、変更をみる。 ・学級活動や縦割り活動を行い、自己肯定感や自己有用感の高揚を図る。							【ほかほか部】 ・道徳教育推進教師 ・人権、同和教育担当者
	●いじめの早期発見、早期対応に向けた取組の充実	○いじめ防止等（いじめの定義、いじめの防止等のための取組、事案対処等）について組織的に対応できていると回答した教員85%以上	・いじめの認知・覚知に対する対応マニュアルを作成・見直しを行う。 ・いじめの対応についての研修・会議を年間に3回以上行う。 ・いじめの避難訓練の授業を行う。							【ほかほか部】 ・生徒指導担当者 ・教育相談 ・管理職
	◎児童生徒が夢や目標を持ち、その実現に向けて意欲的に取り組もうとするための教育活動	●「先生はあなたのよいところを認めてくれていると思う」と回答した児童生徒80%以上 ◎「将来の夢や目標を持っている」について肯定的な回答をした児童90%以上	・キャリアパスポートの活用を図り、年度初めに立てた年間の目標に対して、振り返りを行い、達成度を自己評価をさせる。 ・「夢の教室」や道徳を通して、児童に夢をもつことや、夢に向かって努力することの大切さを、実感させる。							【生き生き部】 ・特別活動担当 ・教務主任
●健康・体づくり	●「望ましい食習慣と食の自己管理能力の育成」	●「健康に良い食事をしている」と考える児童80%以上	・食育の授業を年間1回以上、各学級で行う。その際、栄養教諭とチームティーチングを行い、専門性を高める授業を仕組むようにする。 ・朝の健康観察で、朝食の内容を含めた喫食の実態把握を定期的に行う。							【ほかほか部】 ・食育担当 ・体育主任
	●運動習慣の改善や定着化	●休みに外遊びをする児童の割合85%以上	・休み時間の遊びイベントをスポーツ委員会を中心に企画し、実行する。月に1回行う。 ・佐賀県スポーツチャレンジの周知と全学年への参加を呼びかける。							【生き生き部】 ・体育主任 ・特別活動担当
●業務改善・教職員の働き方改革の推進	●業務効率化の推進と時間外在校等時間の削減	●教育委員会規則に掲げる時間外在校等時間の上限を遵守する。 ○タイムマネジメントを意識して、業務改善に努めた職員が80%以上	・定時退勤日や学校閉庁日を設定する。 ・衛生委員会等を通して、勤務実態の共有を図り、業務改善の意識を高める。 ・校務シェアボードや校務サーバー等のICT機器の活用を推進し、会議の時間短縮や分掌事務の効率化を図る。							・管理職
(2)本年度重点的に取り組む独自評価項目				中間評価		最終評価		学校関係者評価		主な担当者
評価項目	重点取組		具体的取組	進捗度 (評価)	進捗状況と見通し	達成度 (評価)	実施結果	評価	意見や提言	
○チーム学校としての取組の推進	○地域連携、幼保小連携、小小・小中連携、外部機関との連携の推進	○「効果的な地域連携、幼保小連携、小小・小中連携、外部機関との連携が行われている」と考える教師80%以上	・児童の安全確保や各種行事の効果的・効率的な実施のために地域との連携を図る。 ・小1ギャップや中1ギャップの軽減のために、幼保小連携、小小・小中連携の推進を図る。 ・配慮を要する児童やその保護者の支援のために、スクールカウンセラーやスクール・ソーシャル・ワーカー等外部機関との連携を図る。							

●…県共通 ○…学校独自 ◎…志を高める教育

5 総合評価・次年度への展望	・ ・ ・
----------------	-------------